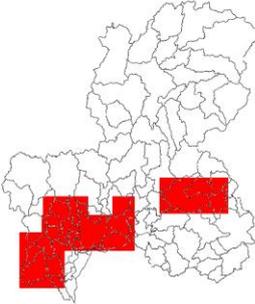


ホナガツナミソウ	<i>Scutellaria laeteviolacea</i> Koidz. var. <i>maekawae</i> (H.Hara) H.Hara	準絶滅危惧
		シソ科
選定理由	分布域の一部において生育の条件が悪化しており、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。	写真(岐阜県博物館) 標本
形態の特徴	茎は直立し、高さ7-20cmの多年草。下向きに曲がった白毛がある。葉は有柄で卵形～長卵形、茎の下部に多く集まり、上の方ほど小さくなる。裏面は紫色を帯びることが多い。花期は6月ころ。花穂は2-8cmになり、花冠は紫色で、長さ2-2.2cm。	
生態的特徴	やや湿った山林内に生える。	
分布状況	本州(福島県以南)に分布する。県内では県南の南西部及び東部の限られた地域に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南の南西部及び東部の限られた地域に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要のある場合は、生育場所を特定できないことのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良